



目次

第1章 インストールの前に

	1	レッツ原価管理Go!をインストールする前の確認事項 ・・・・・・・ 1-2
	2	運用形態の確認 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1-2
	3	必要システム要件の確認 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1-3
	4	データベース環境の確認 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1-4
		1 データベースについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1-4
		2 既に SQL Server がインストールされている場合 ・・・・・・・・1-4
	5	ネットワーク環境の確認 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1-5
		1 ネットワーク(LAN)環境 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1-5
		2 ネットワーク(WAN)環境 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1-5
	6	その他 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1-5
第2	音	・ サーバーのセットアップ
	1	インストール前の確認事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2-2
	2	. NET Framework 3.5のインストール ・・・・・・・・・・・・・・・ 2-3
	3	SQL Server 2017 のインストール ・・・・・・・・・・・・・ 2-4
	4	Windows ファイアウォールの設定 ・・・・・・・・・・・・・ 2-6
	5	サーバーヘユーザーの追加 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2-8
第3:	音	クライアントのセットアップ
	1	インストール前の確認事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3-2
	2	レッツ原価管理Go!のインストール ・・・・・・・・・・・・ 3-3
	3	レッツ原価管理Go!の起動とサーバーの選択 ・・・・・・・・・ 3-7
	4	バックアップ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3-8
第4	音	補足
	1	プログラムの再インストール ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4-2
	2	クライアントの追加 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4-3
	3	クライアントの変更 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4-3
	4	サーバーコンピュータの変更 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 4-3
	5	SQL Serverエディションの変更 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 4-4
	6	アンインストール ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4-5
	7	. NET Framework 3.5のインストール ・・・・・・・・・・・・・・ 4-9
第5	音	トラブルシューティング
-	1	インストール前のトラブル・・・・・・・・・・・・・・・・5-2

- インストール前のトラブル ・・・・・・	•	•	•	•	•	•		•	•	•	0-Z
2 サーバーのセットアップ時のトラブル・・	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	5-3
3 クライアントのセットアップ時のトラブル	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	5–7

● 本書では、レッツ原価管理Go!のインストール方法についてのみ解説しております。機能および 基本的な操作方法につきましては、「レッツ原価管理Go!操作マニュアル」でご確認ください。
 ● 本書の内容に関しては、訂正・改善のため、予告なしに変更することがあります。

● Windows は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。 その他、記載された会社名およびロゴ、製品名などは該当する各社の登録商標または商標です。

第1章 インストールの前に

インストールの前に

1レッツ原価管理Go!をインストールする前の確認事項

- 1 運用形態の確認 スタンドアロン・LAN・WAN **2 必要システム要件の確認**
- サーバーコンピュータ・クライアントコンピュータ・必須ソフトウェア
- **3 データベース環境の確認** 使用するSQL Serverのエディション
- 4 ネットワーク環境の確認 (スタンドアロンで使用する場合は不要)

2 運用形態の確認

運用形態は、大きく4タイプに分けられます。 クライアント台数や使用する場所などにより運用形態を決定します。



3 必要システム要件の確認

	サーバー	クライアント及びスタンドアロン						
CPU	Pentium4 以上または同等の互換プロセッサを搭載し	たコンピュータ (推奨:3GHz以上)						
	Windows Server 2022	Windows 11						
	Windows Server 2019	Windows 10						
	Windows Server 2016	Windows 8 1						
日本語OS	Windows Server 2012 R2							
	Windows Server 2012							
		※2台までの運用なら1台のPCをサーバー兼クライアント機として						
		使用可能です。						
		Windows 11 : 1GB 以上(推奨:1.5GB以上)						
メモリ		Windows 10 : 1GB 以上(推奨:1.5GB以上)						
		Windows 8.1 :1GB 以上(推奨:1.5GB以上)						
T – A	本体に接続可能で上記OSに対応したモニター							
モーダー	解像度1024×768 以上 High Color(16ビット)以上	推奨						
ハ _ ド	インストール時、最大約 1GB	インストール時、最大約1.4GB						
ディフク	別途 データ領域必要	スタンドアロンまたはサーバー兼クライアントの						
1170		場合は別途データ領域必要(サーバーに準ずる)						
	上記OSに対応した、A4用紙が使用可能なプリンタ。							
プリンタ	プリンタドライバ上またはOS上の設定で余白の範囲を	11mm以下まで指定できるプリンタ。						
	※プリンタドライバについては、上記OSに対応したメーカーから提供	されているドライバをご使用ください。						
周辺機器	上記OSに対応した、マウス・キーボード							
7=J ~~ 1/20 HH	インストール時、CD-ROM ドライブが必要							
	1. Microsoft Internet Explorer 6.0 Service Pack	1 以降						
	※上記ソフトウェアがインストールされていない場合、本製品を正常	にセットアップできません。						
	2. Microsoft Windows Installer 4.5 以降							
心 西 45	こ 3 Microsoft NET Framework 3.5 Service Pack 1 以降							
いつ⊾	3. MICROSOTT . NEI FRAMEWORK 3.5 SERVICE PACK I	以降						
フノト	4 Nieroooft Even 2000に18							
	4. MICLOSOLL EXCEL Z000以降	*/``7 L _ # I T T T 1)						
	※本表面のLANDIフラエーで成形をこぼ用になる場合に必要です。別座イフストールして下さい。 5. Microsoft Outlook 2000以降、又はMicrosoft Outlook Fxpress 5以降							
	5. MICLOSOLL UULLOOK ZUUU以降、XIAMICLOSOTT UULLOOK EXPLOSES 5以降 ※本型品の承認体額準能をご使用になる場合に必要です。通常使用する電子メールのプログラムとして設定されている必要がなります。							
	× Webメールでは利用できません。また、すべての雷子メールソフト	る電子が「かめクログラムとして設定されている必要があります。 には対応しておりません。						
	Microsoft SQL Server 2008 R2 以降							
	※本製品は、SQL Server 2017 Express Edition を同梱していますが	、上位エディションをご使用いただくことも可能です。						
	上位エディションをご使用いただく場合は別途ご用意して下さい。	その場合SQLServerのライセンスが別途必要です。						
データ	※20クライアントを超える場合、SQL Server 2017 上位エディション	の使用を推奨致します。						
~~~	※SQL Server 2017 Express Editionでは1データベース領域(会社フ:	ァイル)として最大10GBまで使用可能です。						
	※SQL Server 6.5/SQL Server 7.0及び、これらのSQLServer互換のMS	DEがインストールされている環境にはインストールできません。						
	※SQL Server 2005 SP3以降もご利用可能です。							
LAN環境	100BASE-T以上の有線LAN 通信プロトコルにはTCP/IP	を使用します。						
	リモートデスクトップサービス必須							
	※別途 リモートデスクトップ サービス クライアント アクセス ラ	イセンス が必要です。						
	※Microsoft Excel,Microsoft Outlookをリモートデスクトップサート	ビス上で使用する場合は、サーバーにインストールする必要があります。						
WAN瑨愔	その場合使用クライアント数分のライセンスが必要です。							
11/11/2米-5元	(Excel2007以降をリモートデスクトップサービス上で使用する場合)	は、ボリュームライセンスでご購入ください)						
	※リモートデスクトップサービス上で印刷をおこなう場合は、リモー	トデスクトップサーバーより印刷可能なプリンタを指定してください。						
	※Window Server 2012(R2),2016,2019,2022のOSではActiveDirectory	のメンバーサーバーではない場合、						
	ローカルのアプリケーションと同等の画面表示を行うRemoteAppが	吏用できません。						
	※快適にご利用いただくために、より高スペックのCPUを搭載したコン	ンピュータ、並びにより多くのメモリ搭載をおすすめします。						
	※処理中に、Windowsがスタンバイモード・休止モード・スリープモー	- ドに移行すると、エラーが発生する場合があります。						
ご注意	Windowsがスタンバイモード・休止モード・スリープモードに移行す	る前に、レッツ原価管理Go!を終了してください。						
	※Microsoft社のサポート保証期間が終了しているOSについては正常	こ動作しない可能性がありますので、保証期間の終了していない						
	USでの連用をおすすのします。	ちマルゴ合わいけ 正位コェルがえの使用ナルギー・リーイムリナック						
	※microsoft Sul Server ゐよい灷在アノリケーション使用領域(ハッ	ファッショむりは、圧陥ノオルダでの連用をサホートしておりません。						

## 4 データベース環境の確認

## 1 データベースについて

レッツ原価管理Go!のデータはSQL Server 2017 を使用します。 会社データは指定したインスタンス名の領域に作成されます(既定『LETS』) 本製品のCD-ROMには、SQL Server 2017 Express Editionが同梱されています。

※ SQL Server 2017 Express Editionではデータ領域は1会社ファイルにつき最大10GBまでです。
 ※ 20クライアント以上の場合は、SQL Server 2017 上位エディションの使用を推奨します。

#### 2 既にSQL Serverがインストールされている場合

既にSQLServerがインストールされているコンピュータにレッツ原価管理Go!のCD-ROMより データベースをインストールしようとすると次のようになります。

インストール済の環境	動作
SQL Server 2017	SQL Server 2017 Expressのインスタンス作成が行われます。
SQL Server 2019	
SQL Server 2014	
SQL Server 2012 R2	
SQL Server 2012	SQL Server 2017 Expressのインストールと
SQL Server 2008 R2	インスタンス作成が行われます。
SQL Server 2008	
SQL Server 2005	
SQL Server 2000(MSDE 2000)	
SQL Server 7.0(MSDE 1.0)	動作保障致しかねます。
SQL Server 6.5	別のコンピュータにインストールしてください。

## 5 ネットワーク環境の確認 (スタンドアロンで使用する場合は不要)

#### 1ネットワーク(LAN)環境

LAN (ネットワーク) が正常に動作しているかを確認してください。 各クライアントコンピュータの「(マイ) ネットワーク」を開き、サーバーコンピュータが 表示されていて、ログオンが可能であることを確認します。 TCP / IP V4が動作しているか確認してください。

#### 通信速度

100BASE-T以上 無線LANは、ネットワークの接続が不安定で、データ破損の原因となります。 有線LANでご使用下さい。

#### ルーターでの接続

同一のルーターに接続されているコンピュータ間で使用して下さい。

#### 省電力の設定

レッツ原価管理Go!の起動中に、「スリープ」や「スタンバイ」などの省電力モード にならないように設定して下さい。

#### その他の注意点

サーバーコンピュータとクライアントコンピュータのコンピュータ名を同名にしないで下さい。 サーバーコンピュータとクライアントコンピュータ間で、PINGコマンドを実行した際 正しく動作することを確認して下さい。 (timeは1ms以下で安定していること)

#### 2 ネットワーク(WAN)環境

リモートデスクトップサービスが必要です。 ・リモートデスクトップサーバー機のメモリ容量の目安 OSが要求する容量 + (推定同時使用クライアント数×400MB) セットアップ方法は 別冊「WAN環境で使用する場合のセットアップ」を参照してください。

#### 6 その他

#### その他のアプリケーションの停止

インストールするコンピュータで他のアプリケーションが起動していないことを確認 してください。(ディスクメンテナンス、常駐セキュリティソフトも含む。セキュリ ティソフトの機能によりインストールが正常に行われない可能性があります)

## 第2章 サーバーのセットアップ



※1. 使用0SがWindows Server 2012(R2), 2016, 2019, 2022の場合は、手動によるインストールが必要です。

※2. スタンドアロンの場合、この操作は不要です。

## 1インストール前の確認事項

#### 1 ハードディスクの空き容量

インストール時には、ハードディスクの空き容量が1GB以上必要です。 別途、データ領域として同ーコンピュータ上に別途10GB以上の空き領域が必要です。

#### 2ネットワーク (スタンドアロンで使用する場合には不要)

ネットワーク環境を確認して下さい。

◇ 1-5 インストールの前に 5. ネットワーク環境の確認

#### 3 インストールするユーザーの権限

管理者権限を持っているユーザーでインストールして下さい。

#### 4 データベースのインストール先

インストール先のドライブ又はフォルダが、読み取り専用や暗号化、圧縮されていな いことを確認して下さい。

#### 【確認】

既にご購入済みのSQL Serverの上位エディションをご利用いただくことが可能です。 (マニュアル: <CD-ROM>¥Documents¥SQL Server設定マニュアル¥SQLSetting.pdf)

その場合、先に上記マニュアルに従い SQL Serverのインストールを行ってください。 その後、当マニュアルの 2-5. 6.SQL Serverのインスタンス名指定画面で、別紙SQL Server設定マニュア ルP.3の6で設定したインスタンス名を指定してください。

#### 【注意】

サーバー名とログインユーザー名が一緒の場合、SQL Serverをインストールすることができません。 サーバー名かユーザー名を変更してからインストールを行ってください。

#### 【WAN環境で使用する場合】

セットアップ方法は別冊「WAN環境で使用する場合のセットアップ」を合わせてご確認ください。

## 2.NET Framework3.5のインストール

インストール先のドライブが圧縮されているとインストールが失敗します。圧縮解除してください。

#### OWindows Server 2012(R2), 2016, 2019, 2022の場合

① [スタート]→[管理ツール]から[サーバーマネージャー]を起動します。



- ③ 役割と機能の追加ウィザードを以下の手順で設定します。
  - ・[開始する前に]で「次へ」をクリックします。
  - ・[インストールの種類の選択]で「役割ベースまたは機能ベースのインストール」を選択し「次へ」をクリックします。
     ・[対象サーバーの選択]で「サーバープールからサーバーを選択」を選び、サーバープー
  - ・[対象サーバーの選択]で「サーバープールからサーバーを選択」を選び、サーバープー ルから.NET Frameworkをインストールするサーバーの名前をクリックします。

<u></u>	役割と機能の追加ウィザード
■ 対象サーバーの選 開始する前に インストールの種類 サーバーの種類 サーバーの役割 機能 電認	X (A) L VARIE VARIE (X) (A) (X) (X) (X) (X) (X) (X) (X) (X) (X) (X
ŝų	名前 10 751 7 オイト テルパンフェイ WIN-CQKTO65EODC 192.168.100… Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard (前へ(P) 次へ(N) > 行ストール(1) キャンセル

- ・[サーバーの役割選択]でアプリケーションサーバーを選択し「次へ」をクリックしま
- ・[機能の選択]で.NET Framework 3.5 Featuresをクリックし、.Net Framework3.5に チェックを入れて「次へ」をクリックします。

Ē.	役割と機能の追加ウィザード	_ <b>_</b> ×
機能の選択		対象サーバー WIN-CQKTO65EODC
開始する前に インストールの種類 サーバーの選択 サーバーの役割 機能 確認 転集	<ul> <li>         選択したサーバーにインストールする機能を1 つ以上選択します。         機能</li></ul>	以明 NET Framework 3.5 は、魅力的な ザーインターフェイスや、ユーザーの個 「南朝の保護、シームレスで安全な通 信、幅広ルビジネスプロセスをデリングす る機能を起けるファリットコンを構築 できる新しいテクノロジと、NET Framework 2.0 API の強力な機能と を組み合わせます。

「インストールオプションの確認]でインストールをクリックします。
 .NET Frameworkのインストールが行われるので、インストールが完了したら「閉じる」をクリックします。

## 3 SQL Server 2017 のインストール

- 1 レッツ原価管理Go!のCD-ROMをサーバーコンピュータにセットします。 インストール画面が表示されます。 ◇ 5-2 トラブルシューティング インストーラーが自動的に起動しない
- 2 「サーバーのインストール」をクリックします。



3 レッツ原価管理Go!の使用許諾規約画面が表示されます。 使用許諾規約内容を読み、同意いただける場合は「同意します」をクリックします。

🚾 使用許諾	
レッツ原価管理Golソフトウェア使用許諾規約	
「第1条(定義) 本規約において使用する用語の意義は、次の各号に定める。 (1)「本規約」とは、「レッツ原価管理Golソフトウェア く2)「その他の規程」とは、当社サイト上で当社が定め、 す	とおりとします。 イ使用評語規約」をいいます。 る、本規約以外の本ソフトウェアに関
くろその他の規程をいいます。 (3)「本契約」とは、本ソフトウェアの使用に関する当	社とユーザーとの間のソフトウェアラ
センス契約をいいます。 (4)「当社」とは、株式会社レッツをいいます。 (5)「ユーザー」とは、当社との間で本契約を結び、本 伸	ソフトウェアをエンドユーザーとして
用する者をいいます。 〈 6 〉「本ソフトウェア」とは、当社が販売する「レッツ! ア及びこれに関するマニュアル等のドキュメント類をいい 〈 7 〉「インストレーションキー」とは、本ソフトウェア *	原価管理Go!」という名称のソフトウェ ます。 をインストールするために必要となる
□こをいいます。 ( 8 )「本サーバー等」とは、ユーザーが本ソフトウェア ³ 理	をインストールする先の、ユーザー管
「ご係るサーバー(クラウドサーバーを含みます。)又はPC3 (9)「当社サイト」とは、本ソフトウェアの情報等を掲 い	をいいます。 載した当社が運営するウェブサイトを
います。 	
	同意します 同意しません

※同意しない場合、インストー ルはできません

- 4 インストール開始前の注意メッセージが表示されます。
- セキュリティソフトの無効化、Windows Updateの確認を行い「次へ」をクリックします。

レッツ原価管理Go! インストール	×				
【注意】 レッツ原価管理Go1のインストールを開始する前に下記の内容にご注意ください。 ・セキュリティンフトの無効化 お使いのセキュリティソフトの監視によりインストールが妨げられるおそれがあります。 インストール開始前に一時的にセキュリティソフトの設定を無効に変更してください。					
・Windows Updateの確認 お使いのコンピュータがインターネットに接続されている場合、Windows Update(Windowsの更新 プログラム)を行い、コンピュータを最新の状態にしてください。 レッツ原価値理念いのインストール中にWindows Updateが自動的に実行されるとインストールの 妨げになるおそれがあります。					
<ul> <li>か使いのゼキュリティシノトの監徴によりインストールが効けられるのそれがあります。</li> <li>インストール開始的にご時的にゼキュリティソフトの設定を無効に変更してください。</li> <li>・Windows Updateの確認</li> <li>あ使いのコンピュータがインターネットに接続されている場合、Vindows Update(Vindowsの更新 ブログラム)を行い、コンピュータを最新の状態にしてください。</li> <li>レッツ原価管理品のロインストール中にVindows Updateが自動的に実行されるとインストールの 妨げになるおそれがあります。</li> <li>上記の内容を確認、インストールを継続する場合は「次へ」をクリックしてださい。</li> </ul>					

#### サーバーのセットアップ

5 インストールされるコンポーネントのリストが表示されます。 内容を確認して「次へ」をクリックします。

	レッツ原価管理Go! インストールコンポーネント	
	下記のコンポーネントをインストールします	
	「次へ」をクリックするとインストールを開始します	
	SOL Server 所要時間 約10分	
	所要時間は環境によって変わります 次へ キャンセル	
6 SQL イン	Serverのインスタンス名設定画面が開きます。 マスタンス名設定後「次へ」をクリックします。	
	レッツ原価管理Go! サーパーインストール	
	インスタンス名指定 インスタンス名 ☑ 既定のインスタンス名を使用する LETS ※通常は既定のインスタンス名『LETS』を指定してください	
	インスタンス名を指定して(ださい)キャンセル	

Oレッツ原価管理Go!で使用するインスタンス名を変更したい場合 「既定のインスタンス名を使用する」のチェックをOFFにすると、インスタンス名の入力が 可能になります。任意のインスタンス名を入力してください。 ※通常はインスタンス名に既定の『LETS』を使用することをお勧め致します。

- ・インスタンス名はクライアントのインストール時に必要ですのでメモしておきます。
- ・既に存在しているインスタンス名を指定した場合、インスタンスの作成はスキップされます。
   【重要】レッツ製品以外で使用しているインスタンス名は指定しないで下さい。
- 7 SQL Serverのデータ保存先指定画面が開きます。

レッツ原価管理Go! サーバーインストール						
インストール先フォルダ指定						
データ保存先フォルダ						
C:#Program Files (x86)#Microsoft SQL Server						
SQL Server データフォルダを指定してください	インストール	キャンセル				

- 〇データの保存先フォルダを変更したい場合
  - インストール先フォルダ指定の[…]ボタンをクリックし、データ保存先のフォルダを指定 してください。
- ・インストール先のドライブ又はフォルダが、読み取り専用や暗号化、圧縮されてないことを確認して下さい。

上記内容を設定、確認後「インストール」ボタンをクリックしてください。

※「インストール」ボタンのクリック後、以下の画面が開く場合があります。 その場合は内容を変更せず「OK」ボタンをクリックしてください。

展開されたファイルのディレクトリの選択 ×
展開されたファイルのディレクトリの選択 <mark>Inistrator¥Desktop¥Go!LAN¥Common¥SQLEXPR_JPN¥</mark>
OK キャンセル 参照

- ・SQL Server 2017 のインストールが終了すると再起動が必要になります。 再起動を求められた場合、他に起動しているソフトウェアが無いことを確認後、再起動を 行ってください。
- 8 インストールが終了すると「レッツ原価管理Go!のサーバーのインストールが完了しました」と 表示されます。

4 Windowsファイアウォールの設定 (スタンドアロンで使用する場合は不要)

#### OWindows Server 2012(R2), 2016, 2019, 2022の場合

- 1 [スタートメニュー] → [Windows 管理ツール]から [セキュリティが強化された Windows ファイアウォール]を起動します。
- 2 セキュリティが強化された Windows ファイアウォールの設定画面で「受信の規則」を 選択し「新しい規則」をクリックします。

<b>@</b>		_ <b>D</b> X
ファイル(E) 操作( <u>A</u> ) 表示( <u>V</u> )		
🗢 🏟 🙎 🗊 🗟 👔	操作 受信の規則	
ローカル コンピューター のセキュリテ・     「読み 受信の規則」	新しい規則 プロファイルをフィルター プロファイルをフィルター プ 対策でフィルター	}
ここの規則   ほんてキュリティの規則	<ul> <li>▼ グループでフィルター 表示</li> </ul>	,
▶ 型 監抗	<ul> <li></li></ul>	

- 3「新規の受信の規則ウィザード」画面を以下の手順で設定します。
  - 3-1. [規則の種類]で[プログラム]を選択し「次へ」をクリックします。
  - 3-2. [プログラム]で[このプログラムのパス]を選択し「参照」ボタンから下記のプログラムを 指定します。

(例) C:\Program Files\Microsoft SQL Server\MSSQL14.LETS\MSSQL\Binn\sqlservr.exe

- 3-3. [操作]で[接続を許可する]を選択し「次へ」をクリックします。
- 3-4. [プロファイル]で[ドメイン][プライベート][パブリック]すべてにチェックが入っている ことを確認し「次へ」をクリックします。

<b>@</b>	新規の受信の規則ウィザード		
<b>プロファイル</b> この規則が適用されるプロファイルも	を指定してください。		
<ul> <li>ステック:</li> <li>周期の種類</li> <li>フログラム</li> <li>操作</li> <li>フロファイル</li> <li>名前</li> </ul>	この規則はいつ適用しますか? マ ドメイン(D) コンピューターがその企業ドメイン(2接続しているときに適用されます。 マ ライベート(P) コンピューターが目宅や職場などのブライベートネットワークに接続しているときに適用され ます。 マ パブリック(D) コンピューターがりパブリックネットワークに接続しているときに適用されます。		

3-5. [名前]で[名前]の項目に「SQL Server」と入力し「完了」をクリックします。

42の手順で再度「新規の受信の規則ウィザード」画面を起動します。

- 5 「新規の受信の規則ウィザード」画面を以下の手順で設定します。
  - 5-1. [規則の種類]で[プログラム]を選択し「次へ」をクリックします。
  - 5-2. [プログラム]で[このプログラムのパス]を選択し「参照」ボタンから下記のプログラム を指定します。
  - (例) C:¥Program Files(x86)¥Microsoft SQL Server¥90¥Shared¥sqlbrowser.exe ※32bit版OSの場合 C:¥Program Files¥Microsoft SQL Server¥90¥Shared¥sqlbrowser.exe
  - 5-3. [操作]で[接続を許可する]を選択し「次へ」をクリックします。
  - 5-4. [プロファイル]で[ドメイン][プライベート][パブリック]すべてにチェックが入っている ことを確認し「次へ」をクリックします。
  - 5-5. [名前]で[名前]の項目に「SQL Browser」と入力し「完了」をクリックします。

62の手順で再度「新規の受信の規則ウィザード」画面を起動します。

- 7「新規の受信の規則ウィザード」画面を以下の手順で設定します。 7-1. [規則の種類]で[ポート]を選択し「次へ」をクリックします。
  - 7-2. [プロトコルおよびポート]のTCPとUDPの選択で「TCP」を選択します。
  - 7-3. [プロトコルおよびポート]のすべてのローカルポートと特定のローカルポートの選択で 「特定のローカルポート」を選択し、ポート番号に「1433」を入力します。

<b>@</b>	新規の受信の規則ウィザード				
<b>プロトコルおよびポート</b> この規則を適用するプロトコルとポー	プロトコルおよびポート この規則を適用するプロトコルとポートを指定してください。				
<ul> <li>ステップ:</li> <li>規則の種類</li> <li>プロトコルおよびポート</li> <li>操作</li> <li>プロファイル</li> <li>名前</li> </ul>	TCP と UDP のどちらにこの規則を適用しますか?				

- 7-4. [操作]で[接続を許可する]を選択し「次へ」をクリックします。
- 7-5. [プロファイル]で[ドメイン][プライベート][パブリック]すべてにチェックが入って いることを確認し「次へ」をクリックします。
- 7-6. [名前]で[名前]の項目に「TCP 1433Port」と入力し「完了」をクリックします。
- 82の手順で再度「新規の受信の規則ウィザード」画面を起動します。
  - 8-1. [規則の種類]で[ポート]を選択し「次へ」をクリックします。
  - 8-2. [プロトコルおよびポート]のTCPとUDPの選択で「UDP」を選択します。
  - 8-3. [プロトコルおよびポート]のすべてのローカルポートと特定のローカルポートの選択で 「特定のローカルポート」を選択し、ポート番号に「1434」を入力します。

2	新規の受信の規則ウィザード				
<b>プロトコルおよびポート</b> この規則を適用するプロトコルとポ	ートを指定してください。				
<ul> <li>ステップ:</li> <li>規則の種類</li> <li>プロトコルおよびボート</li> <li>操作</li> <li>プロファイル</li> <li>名前</li> </ul>	TCP と UDP のどちらにこの規則を適用しますか?				

- 8-4. [操作]で[接続を許可する]を選択し「次へ」をクリックします。
- 8-5. [プロファイル]で[ドメイン][プライベート][パブリック]すべてにチェックが入って いることを確認し「次へ」をクリックします。
- 8-6. [名前]で[名前]の項目に「UDP 1434Port」と入力し「完了」をクリックします。

以上でWindowsファイアウォールの設定は完了です。

## 5 サーバーヘユーザーの追加 (スタンドアロンで使用する場合は不要)

以下はWorkgroup環境の場合の設定です。

レッツ原価管理Go!を使用するクライアントPCのユーザーをサーバーに追加します。

- ・サーバーにログオン可能な場合、この作業は必要ありません。
- ・Active Directory環境の場合は、ドメインコントローラー上でユーザーの追加を行ってください。
- 1 [スタートメニュー] → [Windows 管理ツール] → [コンピュータの管理]を起動します。
- 2 コンピュータの管理画面の[システムツール] → [ローカルユーザーとグループ] → [ユーザー] を選択します。



- 3 表示された画面右側に登録済のユーザー一覧が表示されるので、レッツ原価管理Go!を使用 するユーザーが登録されていない場合は右クリックメニューの「新しいユーザー」をクリック します。
- 4 新しいユーザーの登録画面でユーザー情報を入力し「作成」ボタンでサーバーに登録します。

所しいユーザー		? ×
ユーザー名(山):	tanaka	
フル ネーム( <u>F</u> ):	tanaka	
..   .   .   .   .	レッツ原価管理Go!使用ユーザー	
パスワード( <u>P</u> ):		_
パスワードの確認入力	ן@: ●●●●●●	
🔲 ユーザー(な)次回口	」グオン時にパスワードの変更が必要(M)	
🔽 ユーザーはパスワ	ードを変更できない( <u>S</u> )	
▶ パスワードを無期	限(こする( <u>W</u> )	
アカウントを無効(	こする( <u>B</u> )	
ヘルプ(王)	(作成(E) 閉じる(	<u>o</u>

5 上記手順を使用するユーザー分繰り返します。

以上でユーザーの登録は完了です。





3-1

## 1インストール前の確認事項

#### 1 ハードディスクの空き容量

インストール時には、ハードディスクの空き容量が400MB以上必要です。

#### 2 ネットワーク (スタンドアロンで使用する場合には不要)

ネットワーク環境を確認して下さい。

◇ 1-5 インストールの前に 5. ネットワーク環境の確認

#### 3 インストールするユーザーの権限

管理者権限を持っているユーザーでインストールして下さい。

#### 4 サーバーのセットアップが完了していること

※インストールを行う前に確認してください。

- ・ネットワークにサーバーが表示されている。
- ・PINGコマンドが通る。
- ・サーバーにユーザー名・パスワードを登録している。

#### 【注意】

インストール先のドライブ又はフォルダが、読み取り専用や暗号化、圧縮されていないことを確認して ください。

#### 【WAN環境で使用する場合】

セットアップ方法は別冊「WAN環境で使用する場合のセットアップ」を合わせてご確認ください。

## 2 レッツ原価管理Go!のインストール

- レッツ原価管理Go!のCD-ROMをクライアントコンピュータにセットします。
   インストール画面が表示されます。

   ^{CP} 5-2 トラブルシューティング インストーラが自動的に起動しない
- 2 「クライアントのインストール」をクリックします。



3 レッツ原価管理Go!の使用許諾規約画面が表示されます。 使用許諾規約内容を読み、同意いただける場合は「同意します」をクリックします。

🥙 使用許諾	×
レッツ原価管理Golソフトウェア使用許諾規約	
第1条(定義) 「本無約にないて使用する用語の意美味」 ※の名号に定めるしたがらります	^
「本規約」とは、「レッツ原価管理(0.ソフトウェア使用許法規約」をいいます。 (1)「本規約」とは、「レッツ原価管理(0.ソフトウェア使用許法規約」をいいます。	
(2)「その他の規程」とは、当社サイト上で当社が定める、本規模が以外の本サウトウまがに関	
るその他の現程をいいます。 (3)「本契約」とは、本ソフトウェアの使用に関する当社とユーザーとの間のソフトウェアラ	
センス契約をいいます。 イムン「半好」とは、株式会好し、いいたいいます	
くちく、1312」とは、1450名はビックといいよう。 (よう)「ユーザー」とは、当社との間で本契約を結び、本ソフトウェアをエンドユーザーとして	
」は、 用する者をいいます。 (2)「オンコント・サービルト・ドイル2005年112、2005年2011」というながのショント・	
「マラブー本クラトウェア」とは、ヨ社小販売する「レック原油管理uo:」という名称のクラトウェーア及びこれに関するマニュアル等のドキュメント類をいいます。	
(7)「インストレーションギー」とは、本ソフトウェアをインストールするために必要となる   キ	
~をいいます。   (8)「本サーバー等」とは、ユーザーが本ソフトウェアをインストールする先の、ユーザー管	
理  に任るサーバー(クラウドサーバーを含みます。)又はPCをいいます。	
(9) 「当社サイト」とは、本ソフトウェアの情報等を掲載した当社が運営するウェブサイトを	
心ます。	~
同意します。「同意しません」	

4 インストール開始前の注意メッセージが表示されます。

セキュリティソフトの無効化、Windows Updateの確認を行い「次へ」をクリックします。



- 5 インストールされるコンポーネントのリストが表示されます。 内容を確認して「次へ」をクリックします。
  - ◇ 4-9 補足 8. NET Framework3. 5のインストール

レッツ原価管理Go! インストールコンポー	ネント
下記のコンポーネントをインス	ストールします
「次へ」をクリックするとインストーノ	レを開始します
レッツ原価管理Go!	所要時間約3分
	次へ キャンセル

6 インスタンス名の指定画面が表示されます。サーバーのインストールの際(2-5.6)に指定した インスタンス名を入力してください。(既定:LETS)

SQL Sen	ver インスタンスキ	るの指定				
レッツ馬 (既定:1	『価管理Go!のサ LETS)を指定し「	ーバーにインス 次へ」をクリック	トールしたSQ してください。	L Server(	Dインスタンス	2名
ſ	んしスタンス名					
		LETS				
		※既定は『	LETS 』です			
				_	_	
			戻る	次	^	キャンセル

7 サーバーの指定画面が表示されます。サーバーの一覧リストに表示されている中から、 レッツ原価管理Go!用のサーバーの名前を選択し「次へ」をクリックします。

サーバーコンビュータの指定
レッツ原価管理Golのサーバーとして使用するサーバー名を一覧から選択し「次へ」をクリック してください。
サーバーー覧
SERVER
遂訳中のサーバー SERVER
戻る 次へ キャンセル

※表示されるコンピューター名は環境によって変わります。

※サーバー一覧にサーバー名が表示されない場合、以下の項目を確認してください。
 ①コンピューターがネットワークに接続されているか (LAN版の場合)
 ②前画面で指定したインスタンス名が正しいか
 「選択中のサーバー」欄に直接サーバー名 又は IPアドレス を入力することも可能です。
 例)「LETS-PC」「192.168.100.123」

※サーバー選択時に「サーバーにアクセスできません」とメッセージが表示された場合、 サーバー:パブリックのドキュメント¥LetsDataのプロパティの確認を行って下さい。 ①セキュリティタブにEveryone 又は ユーザーにフルコントロールが付与されているか ②共有タブ→詳細な共有→アクセス許可にEveryone 又は ユーザーにフルコントロールが 付与されているか

※「次へ」をクリックした直後にエラーが発生した場合は、サーバーの設定が不完全な可能性があります。サーバーの設定を再度ご確認ください。
2-8 サーバーのセットアップ 5.サーバーヘユーザーの追加

8 サーバーの選択後、インストレーションキー入力の画面が表示されます。 CD-ROMケースに入っているインストレーションキーを入力し「次へ」をクリックします。

レッツ原価管理Go! インストレーションキー認証
レッツ原価管理Golのインストレーションキー認証を行います。 CD-ROMのケースに記載されているインストレーションキーを入力して下さい。
インストレーションキー 999999 - 99999
次へ キャンセル

- ※「次へ」をクリックした直後エラーが発生した場合は、サーバーの設定が不完全な 可能性があります。サーバーの設定を再度ご確認ください。 2-8 サーバーのセットアップ 5.サーバーへユーザーの追加
- 9 レッツ原価管理Go!本体のインストールウィザード画面が開きます。 「次へ」で進めます。

🛃 レッツ原価管理Go! - InstallSh	eld Wizard	$\times$
2	レッツ原価管理Go!のInstallShield ウィザードへようこそ	
	InstallShield(R) ウィザードは、ご使用のコンピュータへ レッツ病 価管理Gol をインストールします。「次へ」をクリックして、続行し ください。	ί ,τ
	警告: このプログラムは、著作権法および国際協定によって保 されています。	謢
	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル	

10 インストール先指定画面が表示されます。変更する場合は「変更」ボタンをクリックし、 インストール先を指定します。 「次へ」をクリックします。

1日 レッツ原信	西管理Go! - InstallShield Wizard	×
インストール このフォル ンストーノ	い先のフォルダ レダにインストールする場合は、「次へ」をクリックしてください。 別のフォルダ( しする場合は、「変更」をクリックします。	
Þ	レッツ原価管理Go! のインストール先: C:¥Program Files (x86)¥Lets¥LetsGo¥	変更(C)
InstallShield -		
	< 戻る(B) 次へ(N) >	キャンセル

- 11 インストールの準備完了画面が表示されます。
  - 「インストール」ボタンをクリックするとインストール処理が開始されます。

ピレッツ原価管理Go! - InstallShield Wizard × プログラムをインストールする準備ができました ウィザードは、インストールを開始する準備ができました。
「インストール」をクリックして、インストールを開始してください。 インストールの設定を参照したり変更する場合は、「戻る」をクリックしてください。「キャンセル」をク リックすると、ウィザードを終了します。
InstallShield

12 インストールが終了すると完了画面が表示されます。 「完了」ボタンでクライアントのインストールを終了します。

しゅう	eld Wizard	×
<u>ن</u>	InstallShield ウィザードを完了しました	
	InstallShield ウィザードは、レッツ原価管理Go! を正常にインス ールしました。「完了」をクリックして、ウィザードを終了してください	۱۲. ۱۰
Contraction of the local distribution of the	【確認】 インストール開始時にセキュリティソフトを無効にしていた場合は4 効化してください。	月
$\geq$		
	< 戻る(B) 完了(F) キャンセル	

13 他のクライアントコンピュータにも上記の手順でインストールします。

以上でクライアントのインストールは終了です。

## 3 レッツ原価管理Go!の起動とサーバーの選択

レッツ原価管理Go!のデータを保存するSQL Serverを選択します。 インストール手順[3-4の7]で設定したサーバーを選択します。

- 1 レッツ原価管理Go!を起動します。
- 2 サーバー選択画面が表示されます。 ※一度レッツ原価管理Go!をインストールした ことがあるコンピュータの場合表示されない 場合があります。



×

3 ドロップダウンリストよりサーバーを選択します。 レッツ原価管理Go!のデータを保存するSQL Serverを選択します。

インストール手順[3-4の7]で設定したサーバーを選択します。

※サー	バー名は	[ <serve< th=""><th>ERNAME&gt;¥</th><th>〈インス</th><th>タンス</th><th>名〉』</th></serve<>	ERNAME>¥	〈インス	タンス	名〉』
で表	示されま ⁻	す。				
(例)	LETS-PC	¥LETS				

SQL Server選択	×
サーバー選択	
LETS-PC¥LETS	
OK	

※ ドロップダウンリストに表示されない場合、直接サーバー名やIPアドレスを入力して指定します。
 (例) 「Server¥LETS」 「192. 168. 100. 100¥LETS」

直接入力してもサーバーを選択できない場合、お手数ですが弊社までご連絡ください。

4 [OK]ボタンをクリックします。



5 レッツ原価管理Go!のメインメニューが表示されます。 インストール作業はこれで完了です。

THE BO	
	746 BD

4 バックアップ

## データのバックアップを必ずお取りください!

パソコンのトラブルで万が一データが壊れてしまった場合、バックアップデータが ないと入力したデータはすべて失われてしまいます。そうなってしまったら、一か ら入力し直すしかありません。 あとで泣くことにならないように、必ずデータのバックアップを行ってください。

※他社製バックアップソフトの復帰作業はサポート出来かねますので、レッツ原価 管理Go!標準のバックアップ機能をお使いください。

※レッツ原価管理Go!標準のバックアップデータが無い場合およびバックアップ データ破損の場合、データ復帰が出来ない場合がありますので、あらかじめ ご了承ください。

作業終了後には異常終了した場合を除いて必ずバックアップの操作を行ってください。

 アイコンメニュー「補助」タブから「バックアップ」を選ぶと バックアップ画面が表示されます。
 ※「環境設定」→「基本設定」タブの「バックアップ □終了時にバックアップを実行する」
 にチェックしておくと、本システム終了時に自動的に「バックアップ」画面が表示されます。



- 2 「バックアップ元」を確認の上、「バックアップ先」を指定します。 ※「バックアップ先」は必ず本システムとは別のドライブを指定してください。 同一ドライブ・フォルダを指定した場合の動作は保証いたしかねます。
- 3 「実行」を選ぶと処理を開始し、終了後、本システムに戻ります。

## バックアップは毎日

せっかくバックアップデータがあっても、それが数ヶ月前というのでは意味があり ません。バックアップは毎日必ず取りましょう。

またバックアップがうまく取れなかったり、異常なデータをバックアップしてしまったりする可能性もあるので、念のため複数のバックアップデータを持つことをお奨めします。

例:

USBメモリで偶数日と奇数日の二組 USBメモリとハードディスクの二組

※データに異常を感じたときは、別のメディアや別フォルダにバックアップし、前回までの正常なバックアップデータを消さないようにしてください。

# 第4章 補足

1 プログラムの再インストール ・・・・・・・・・・・・・・・・・・4-2
2 クライアントの追加 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・4-3
3 クライアントの変更 ・・・・・・・・・・・・・・・・・4-3
4 サーバーコンピュータの変更 ・・・・・・・・・・・・・・・4-3
5 SQL Serverエディションの変更 ・・・・・・・・・・・・・・4-4
1 現サーバーのエディションを変更する場合 ・・・・・・・・ 4-4
2 別のサーバーコンピュータにあるSQL Serverに切り替える場合 ・ 4-4
6 アンインストール · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
1 レッツ原価管理Go!のアンインストール ・・・・・・・・ 4-5
2 データベース(レッツ原価管理Go!用インスタンス)の削除 ・・・4-6
7. NET Framework 3.5のインストール ・・・・・・・・・・・・・・・・4-9

## 1 プログラムの再インストール

何らかの原因でレッツ原価管理Go!が起動しなくなった場合や、更新プログラムが提供 された場合に実行し、プログラムの修正を行います。

他に起動しているソフトウェアがある場合は終了させてください。

- 1 お使いのコンピュータにレッツ原価管理Go!のインストールCD-ROMをセットします。
- 2 「クライアントのインストール」をクリックします。
- 3 P.3-3「2 レッツ原価管理Go!のインストール」の手順1~9の後、下記の画面が開きます。

4 「修正」を選択し「次へ」をクリックします。



5「インストール」をクリックします。



6 再インストール処理が実行されます。最後に「完了」ボタンをクリックします。

※・会社データに対しての修正は行われません。 ・プログラムの修正を行うことで会社データに対して影響はありません。 再インストール後は、既存の会社データをそのままご使用いただけます。

#### 2 クライアントの追加

- 1 追加するクライアント(ユーザー)をサーバーに追加します。 [○] 2-8 サーバーのセットアップ 5.サーバーへユーザーの追加
- 2 クライアントをセットアップします。 ○ 3-1 クライアントのセットアップ

#### 3 クライアントの変更

クライアントコンピュータの故障や、グレードアップなどの為、別のコンピュータでレッツ 原価管理Go!を使用する場合に実行します。

1 現在使用中のコンピュータが動作する場合、レッツ原価管理Go!をアンインストールします。
 ○ 4-5 補足 アンインストール

- 2 新しいコンピュータにインストールします。
   手順は、クライアントのインストールと同じです。
   3-1 クライアントのセットアップ
- 注意 旧コンピュータで使用していたときの設定は新コンピュータに引き継がれません。 画面設定や集計条件等が、初期設定に戻っています。

### 4 サーバーコンピュータの変更

サーバーコンピュータの故障や、グレードアップなどの為、別のコンピュータをレッツ 原価管理Go!のサーバーにする場合に実行します。

1 レッツ原価管理Go!のバックアップを取ります。 複数会社データがある場合はすべての会社データのバックアップを取ります。

【重要】 バックアップが無い場合、新サーバーにデータを引き継ぐことはできません。

- 2 新しいサーバーコンピュータにデータベースをインストールします
   手順は、サーバーのセットアップ手順と同じです。
   ^C 2-1 サーバーのセットアップ
- 3 クライアントでレッツ原価管理Go!を起動し、「会社新規作成」を開きます。 サーバー選択で新しいサーバーを選択し、新規に会社を作成します。
- 4 新しく作った会社データに1. で作ったバックアップデータを復帰させます。 (複数の会社データが有る場合は3→4の作業を繰り返し、すべて復帰させます)
- 5 旧サーバーより、データベースを削除します。 ○ 4-6 補足 データベース(レッツ原価管理Go!用インスタンス)の削除

## 5 SQL Serverエディションの変更

SQL Serverを上位エディションに変更する方法です。データ量が多く処理時間が長くかか る場合やクライアント数が多い場合には、サーバーコンピュータのアップグレードと共に SQL Server 2017 Expressエディションより上位エディションの使用をご検討下さい。

#### 1 現サーバーのエディションを変更する場合

1 安全の為、レッツ原価管理Go!のバックアップを取ります。 複数会社データがある場合はすべての会社データのバックアップを取ります。

【重要】バックアップが無い場合のデータリカバリは対応できません。

2 SQL Server 2017 のセットアップ手順により上位エディションをインストールします。 レッツ原価管理Go!で使用するインスタンスを上位エディションに変換します。(既定:LETS) (詳細は、SQL Server に添付の説明をご覧下さい)

※クライアントコンピュータでの処理設定の変更はありません。 継続してご使用できます。

複数会社データがある場合はすべての会社データのバックアップを取ります。

#### 2 別のサーバーコンピュータにあるSQL Serverに切り替える場合

1 旧サーバーでレッツ原価管理Go!のバックアップを作成します。

 ・ 一台のクライアントコンピュータでレッツ原価管理Go!を起動後「ファイル」→「バックアップ」から
 バックアップファイルを作成します。(会社データ領域が複数存在する場合は、すべての会社データ領域から
 バックアップファイルを作成します)

【重要】バックアップが無い場合、新サーバーにデータを引き継ぐことはできません。

2 新サーバーコンピュータのセットアップを行います。 [◇] 2-1 サーバーのセットアップ

- 3新サーバーに会社データ領域を作成します。
- ・ 一台のクライアントコンピュータでレッツ原価管理Go!を起動後「会社新規作成」から
   サーバー選択で新サーバーを選択し、新規に会社データ領域を作成します。
- 4 新しく作った会社データ領域に1. で作成したバックアップを復帰させます。
  - ・ 一台のクライアントコンピュータでレッツ原価管理Go!を起動後「ファイル」→「データ復帰」から

     で作成したバックアップファイルを復帰します。(複数の会社データが有る場合は3→4の作業を繰り返し、
     すべて復帰させます)
- 5 他のクライアントコンピュータの会社データ領域を切り替えます。
  - 他のクライアントコンピュータでレッツ原価管理Go!を起動後「ファイル」→「会社選択」から 新サーバーを選択し、会社データ領域を切り替えます。
  - ※ クライアントコンピュータの会社データ領域を切り替えずに旧サーバーのデータベース インスタンスを削除すると、起動時に「データベースのバージョンが確認できませんでした」 というメッセージが表示されます。必ずクライアントコンピュータの会社データ領域を 切り替えた後に6の操作を行ってください。

6 旧サーバーより、レッツ原価管理Go!用のデータベースインスタンスを削除します。 [◇] 4-6 補足 データベース(レッツ原価管理Go!用インスタンス)の削除

 ※ SQL Server 2017で作成した会社データのバックアップファイルをSQL Server 2017より 古いバージョンのSQL Serverにデータ復帰することは出来ません。
 (レッツ原価管理Go!の出荷バージョン1.3.0より古いものはSQL Server 2008、
 1.6.30より古いものはSQL Server 2008 R2、
 1.17.0より古いものはSQL Server 2014を使用しています)

### 6 アンインストール

レッツ原価管理Go!をご使用になられなくなった場合以下の処理を行ってください。 1 レッツ原価管理Go!のアンインストール ・・・・・・・・・・・・・・4-5 2 データベース (レッツ原価管理Go!用インスタンス)の削除 ・・・・4-6

#### 1 レッツ原価管理Go!のアンインストール

クライアントコンピュータからレッツ原価管理Go!プログラムを削除します。 管理者権限のあるユーザーでログインしている状態で行ってください。

【メモ】 会社データは削除されません。 会社データの削除は、レッツ原価管理Go!プログラムの 「会社データ削除」機能、もしくはP.4-6「データベースの削除」でおこないます。 ※データベースの削除を行った場合、インスタンスに存在する全ての会社データが削除されます。

<CD-ROMを使用しない場合>

1 「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」を開きます。

2 表示されたプログラムの一覧から「レッツ原価管理Go!」を選択し、「アンイ ンストール」を実行します。

#### <CD-ROMを使用する場合>

1 レッツ原価管理Go!のインストールCD-ROMをセットします。

2 「クライアントのインストール」をクリックします。

3 P.3-3「2 レッツ原価管理Go!のインストール」の手順1~9の後、下記の画面が開きます。

4 「削除」を選択し「次へ」をクリックします。

影レッツ原価管理Go! - InstallShield Wizard
プログラムの保守 プログラムを修正または削除します。
<ul> <li>修正(P)</li> <li>レッツ原価管理Gol のブログラムデータをすべて再インストールします。</li> <li>● 肖ᆙ除(R)</li> <li>コンピュータから レッツ原価管理Gol を削除します。</li> </ul>
InstaliShield

5「削除」をクリックします。



6 プログラムの削除が実行されます。最後に「完了」ボタンをクリックします。

#### 2 データベース(レッツ原価管理Go!用インスタンス)の削除

サーバーコンピュータ上のデータベースからレッツ原価管理Go!で使用しているインスタンス を削除します。 管理者権限のあるユーザーでログインしている状態で行ってください。

1. レッツ原価管理Go!用インスタンスの停止

2. レッツ原価管理Go!用インスタンスの削除

【重要】

- インスタンスを削除すると、レッツ原価管理Go!用にデータベースに保存されている すべてのデータが削除され、元に戻すことはできません。
   インスタンスを削除する前にバックアップを作成し、そのバックアップファイル で正常に復帰できることを確認してください。
- ・ SQL Server 2017に他のソフトウェアのインスタンスが存在する場合があります。 誤って他のインスタンスを削除しないようにご注意下さい。削除してしまった場合の データ復旧は弊社ではサポートできかねますのであらかじめご了承下さい。

以下の操作はサーバーコンピュータで行います。

 レッツ原価管理Go!を使用しているクライアントコンピュータがあればすべて 終了します。

2 レッツ原価管理Go!用インスタンスの停止

①「スタートメニュー」→「Microsoft SQL Server 2017」→ 「SQL Server 2017 構成マネージャー」を開きます。



②「SQL Serverのサービス」を選択し、画面右側で「SQL Server (****)」※1 を右クリ ックし、表示されたメニューから「停止」をクリックします。 ※1 ****はインストール時に指定した任意のインスタンスタ(時定・」FTS)

ХI	****121	シスト	>ール時に	指定したた	±思のイン	スタンス	占(既定:LEI	3)

Sql Server Configuration Manager							- 0	×
ファイル(F) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H)								
🗢 🔿 🖄 📓 🗟   🕑 🖲 📀								
🛞 SQL Server 構成マネージャー (ローカル)	名前	状態	開始モード		ログオン		プロセス ID	サービスの
SQL Serverのサービス	SQL Server (LETS)	実行中	自動		LocalSystem	)	2008	SQL Serv
J SQL Server ネットワーク構成 (32 ビット) ■ SQL Native Client 11.0 の構成 (32 ビット)	👔 SQL Server エージ	停止	その他 (	間始(S)		TY¥NE	0	SQL Age
> U SOL Server ネットワークの構成	SQL Server Browser	実行中	自動	停止(O)		TY¥LO	2044	
> 曼 SQL Native Client 11.0 の構成				対テル	(*)			
-				再開(E)				
				再起動(T)				
				プロパティ(	R)			
				ヘルプ(H)				

3 レッツ原価管理Go!用インスタンスの削除

「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」を開きます。

②表示されプログラムの一覧から「Microsoft SQL Server 2017」を選択します。 「アンインストールと変更」ボタンをクリックします。

← → ◇ ↑ □, コントロール パネル , プログラム > プログラムと機能     コントロール パネル ホーム     プログラムのアンインストールまたは 変更     インストール にたて美新プログラムを     プログラムをアンインストールするには、一覧からプログラムを選択して (アンインストール)、(変更)、または (修頃) をクリックします。     表示	
コントロール パネル ホーム ブログラムのアンインストール または 変更 インストール えれた更新プログラムを プログラムをアンインストールするには、一覧からプログラムを選択して (アンインストール)、(変更)、または (修頃) をクリックします。 表示	
Mindows の操作の本体化または	
無効化 整理 ▼ アンインストールと変更	
名前 発行元 インストール日 サイズ	
Microsoft OLE DB Driver for SQL Server Microsoft Corporation 2021/02/02 12.1 M	3
Microsoft SQL Server 2008 R2 Native Client Microsoft Corporation 2020/12/28 20.6 N	3
■ Microsoft SQL Server 2008 R2 管理オブジェクト (x64) Microsoft Corporation 2020/12/28 30.6 N	3
■ Microsoft SQL Server 2008 セットアップ サポート ファ Microsoft Corporation 2021/02/15 37.2 №	3
Microsoft SQL Server 2012 Native Client Microsoft Corporation 2021/02/02 11.9 N	3
Microsoft SQL Server 2014 Microsoft Corporation 2021/02/15	
Microsoft SQL Server 2014 Transact-SQL ScriptD Microsoft Corporation 2021/02/15 12.3 M	3
■ Microsoft SQL Server 2014 セットアップ(日本語) Microsoft Corporation 2021/02/15 104 M	3
Microsoft SQL Server 2017 (64 (29F)) Microsoft Corporation 2021/10/12	
Microsoft SQL Server 2017 I-SQL 言語サービス Microsoft Corporation 2027/10/12 16.0 M	
Microsoft SQL Server 2017 (25/57) (12 km) Microsoft Corporation     Microsoft Corporation     Microsoft SQL Server 2017	×
microsoft sqt server system CLK types (xo4)     microsoft Corporation	
ックス ※ 第一報総合追加します 第一	•
· 「「」 「「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」	·
記録     製品を削除しま	

処理の内容は「削除」を選択します。

- ③「OK」をクリックし進めます。
- ④「インスタンスの選択」で削除するインスタンス名 ※1 を選択して「次へ」ボタン をクリックします。

※1 インストール時に指定した任意のインスタンス名(既定:LETS)

鷔 SQL Server 2017の削除					-		$\times$
<b>インスタンスの選択</b> 変更する SQL Server のインスタ:	ソスを指定します。						
グローバル ルール インスタンスの選択 機能ルール 削除の準備完了 削除の進行状況	削除する SQL Serv みを削除する 異況に 機能を削除するイン LETS インストール 済みのイ	er インスタンスを選択しま て (次へ) をクリックします。 スタンス: ンスタンス:	す。Management Toolsと	共有機能のみを削	除するには、	[共有機前	5 0
完了	インスタンス名	インスタンス ID	機能	エディション	バー	ジョン	
	LETS	MSSQL14.LETS	SQLEngine, SQLEng	Express	14.0	.1000.169	

⑤「機能の選択」で「データベースエンジンサービス」と「SQL Serverレプリケー ション」にチェックを入れ「次へ」をクリックします。

鷔 SQL Server 2017の削除		- 🗆 ×
機能の選択 このコンビューターにインストールさ ンにしてください。	されている SQL Server 機能を以下に示します。機能を削除するには	5、機能名の慣にあるチェック ポックスをオ
グローバルルール インスタンスの選択 機能の選択 機能ルール 剤除の準備売了 剤除の進行状況 売了	機能(F): LFTC ダデータベース エンジワ サービス SQL Server レブリケーション 大智能能 □ SQL クライアント接続 SDK 再頒布可能な機能	記明(D): SQL Server インスタンスのインスタン ス機能は、増成と操作が、他の SQL Server インスタフルとは分離されてい ます。SQL Server の複数のインスタン スを、同じコンビューラーでサイドバイ サイドで操作できます。

⑥「OK」をクリックし進めます。

⑦「削除」をクリックします。

騺 SQL Server 2017 の削除		-		×
削除の準備完了				
削除する SQL Server 2017(	0機能を確認します。			
クローパリルール インスタンスの建設 機能の違説 機能ルール 剤除の準備売て 利除の進行状況 売了	SQL Server 2017 を制造するための準備表了: ■ 概要 ■ 万行ション: Express ■ クラション Uninstall ● 全般電電 ● 機能 ■ デークペース エンジン サービス ■ SQL Server レブリケーション			
	機成ファイルのパス:			
	C:¥Program Files¥Microsoft SQL Server¥140¥Setup Bootstrap¥Log¥20211013_160	)123¥Configura	ationFile.i	ni
	< 戻る(B)	削除(R)	キャンセ	JL

⑧インスタンスの削除が実行されます。

以上でデータベースの削除は終了です。

※ インスタンスをすべて削除するとSQL Server 2017も一緒に削除されます。

※ SQL Server 2017をアンインストールした後、SQL Server 2017 T-SQL 言語サービス、 SQL Server 2017 セットアップ(日本語)のアンインストールを行ってください。 (他のアプリケーションでSQL Serverを使用している場合、この処理は 行わないでください)

## 7.NET Framework 3.5のインストール

OSや環境により自動でインストールされない場合には、手動でインストールしてください。 インストール先のドライブが圧縮されているとインストールが失敗します。圧縮解除してください。

#### OWindows 10,11の場合

- ① [スタートメニュー] → [Windowsシステムツール] → [コントロールパネル]を起動します。 ※Windows 11の場合は、[スタートメニュー] → [すべてのアプリ] → [Windowsツール] → [コントロールパネル]の順で起動します。
- ② [プログラム]を選択します。

<ul> <li>ヨントロール バネル</li> <li>← → ✓ ↑ 図 → コントロール バネル</li> </ul>	د ن ~
コンピューターの設定を調整します	表示方法
システムとセキュリティ コンビューターの状態を構成 フィル度定でフィバルのパックアップユビーモ保存 パッケアップと使用、(Mindows T)     ネットワークとインターネット ネットワークとインターネット ネットワークとインターネット デパインクロンド デパインタンド デパインタンド デパインターの表示 デパインの追加 半週で使うモンドッチの変更 フログラム (フログラム) (フログラム) (フログラム)	<ul> <li>ユーザーアカウント ・アカウントの世報の変更         ・アカウントの世報の変更         ・デスクトップのカスタマイズ         ・ジー         ・デスクトップのカスタマイズ         ・ドル域         ・日へ時期、数億形式の変更         コンピューターの簡単操作         かっの様本の条形         までの条形         までの条形         までパスアレイの最適化         ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>

③ 「Windowsの機能の有効化または無効化」をクリックします。



④. NET Framework3.5(.NET2.0および3.0を含む)のチェックボックスにチェックを入れ「OK」をクリックします。

📷 Windows の機能	—		×
Windows の機能の有効化または無効化			?
機能を有効にするには、チェック ボックスをオンにしてくださ は、チェック ボックスをオフにしてください。 塗りつぶされたチュ 部が有効になっていることを表します。	い。 機能 ニック ボッ	を無効にす クスは、機	るに 能の一
🕞 🔳 📕 .NET Framework 3.5 (.NET 2.0 および 3.0 ≹	を合む)		^
Active Directory ライトウェイト ディレクトリ サ	ービス		
🕀 🗌 📊 Hyper-V			
Internet Explorer 11			
Microsoft PDF 印刷			
😠 🔲 📙 Microsoft メッセージ キュー (MSMQ) サーバ・	-		
MultiPoint Connector			
🕀 🔳 📙 NET Framework 4.6 Advanced Services			
RAS 接続マネージャー管理キット (CMAK)			
문제 Remote Differential Compression API 바	ポート		
		_	$\sim$
	Ж	+72	セル

#### OWindows 8.1の場合

① スタートメニューアイコンを右クリックして、メニューから[コントロールパネル]を起動します



② [プログラム]を選択します。



③ [Windowsの機能の有効化または無効化]をクリックします。



 ④.NET Framework3.5(.NET2.0および3.0を含む)のチェックボックスに チェックを入れ「OK」をクリックします。



# 第5章 トラブルシューティング

1インストール前のトラブル ・・・・・・	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	•	•	•	5–2
2 サーバーのセットアップ時のトラブル ・・	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	5–3
3 クライアントのセットアップ時のトラブル	•	•			•	•	•	•	•	•	•	•	5-7

## 1インストール前のトラブル

#### 1 インストーラーが自動的に起動しない

レッツ原価管理Go!のインストールCD-ROMをコンピュータに挿入してもインストーラーが 自動で起動しない場合、下記の手順でインストーラーを手動で起動してください。

「(マイ)コンピュータ」を開きます。
 CD-ROMをセットしたじニンゴナロ・・・

CD-ROMを	セットし	したドライ	フを開き	ます。	
名前	種類	合計サイズ	空き領域		
ハード ディン	スク ドライブ (	2)			
<b>-</b>	-カル ディスク	(C:)	ローカル	ディスク (D:)	
<b>ब्रिजि</b> 💻	き領域 106 GB/	146 GB	空き領域	151 GB/151 GB	
リムーバブル	レ記憶域があるう	デバイス (3) ――			
	^コ ッピー ディス )	クドライブ	DVD RW	ドライブ (E:)	
ير 🏈	ューバブル ディ	スク (F:)			

③ 「setup. exe」ファイルがありますのでダブルクリックします。

	名前		更新日時	種類	サイ	ズ
(	LETS Go!	setup	.exe	)		regEdit.dat DAT ファイル 26 バイト
	VBS JS	GetW	'inVer.exe		0	EncryptionPro 1.0.0.0 EncryptionPro
		<b>Creat</b> Creat 株式会	<b>eComFolder.ex</b> eComFolder 社レッツ	e		connection.da DAT ファイル 14 バイト
	FT	Check Check	CoperatingSyst	em_Sv		CheckOperatii CheckOperatii

#### 2 サーバーとクライアントのネットワークが繋がらない

下記の内容をご確認ください。

周辺機器関連

- ・HUBの電源は入っていますか?
- ・LANケーブルは正しく接続されていますか?
- →LANコネクタのランプが点灯しているか確認してください。
- ネットワークの設定
- ・TCP/IPなどのネットワーク設定は完了していますか?
- ・TCP / IP V4が動作していますか?
- IPアドレスが重複していませんか?
   →PCを起動した時に「ネットワーク上の別のシステムと競合しているIPアドレスがあります」と表示される場合はIPアドレスが重複している可能性があります。
   ・サーバーへのアクセス権限はありますか?
- →サーバーのLetsDataにアクセスできるか確認してください。
- ・PINGコマンドは通りますか?
- ・同一セグメントに属していますか?
   →サーバーとクライアントのIPアドレス <u>xxx</u>. <u>yyy</u>. <u>zzz</u>. xxx の下線部分が同じになって いるか確認してください。

その他設定

- ・ルータの設定で、遮断されていませんか?
- ファイアウォールの設定で遮断されていませんか?
- ・セキュリティソフトの設定で遮断されていませんか?

## 2 サーバーのセットアップ時のトラブル

1 SQL Server 2017 のインストール時に注意メッセージが表示された



- インストールしようとしているサーバーのOSがWindows Server 2008 R2 以降の場合、
   インストーラーから.NET Frameworkをインストールすることができません。
   手動でインストールしてください。

   ⁽⁾ 4-9 補足 .NET Framework 3.5のインストール
  - 4-9 補定 . NET Framework 5.5004 ノストール

### 2 SQL Server 2017 のインストール時に、 セットアップサポートルール画面で 「コンピュータの再起動(RebootRequiredCheck)」が失敗と出た

1	SQL Server 2014 セットアップ	- • ×
<b>グローバル ルール</b> セットアップのグローバル ルールでに す。セットアップを続行する前に、コ	t、SQL Server セットアップ サポート ファイルのインストール時に発生する可能性がある問題を特定しま ラーを修正しておく必要があります。	E
グローバル ルール 製品の更新プログラム セットアップ ファイルのインストール インストール ルール インストールの理題 ミイヤンパを頂	操作が完了しました。成功 8、失敗 1、警告 0、スキップ 0。 詳細の非表示(S) << <u>詳細レポートの表示(Y)</u>	再実行(R)
パロンス未頃 機能の選択 機能ルール 機能構成ルール	ルール	
1フスiールの進行の近 完了	マンシューターの内起動     支取       WMI (Windows Management Instrumentation) サービス     合格       SQL Server レジストリ キーの整合性の検証     合格       SQL Server インストール メディア上のファイルへの長いバス名     合格       互換性がない SQL Server セットアップ製品     合格	
	✓ ΞΞΕΙΞΛΛάνι SQL Selver C9/79798         □ΞΕ           ✓ Windowe 2008 R2 \$ ±1% Windowe 7 ⊞/0 NET 2 0 \$ ±1%         ≤48	

※SQL Server 2014の画面ですが、SQL Server 2017でも同様です

・サーバーを再起動後、再度インストールを実行して下さい。 それでも現象が解消しない場合、お手数ですが弊社までご連絡下さい。

3 サーバーのセットアップ終了時に、下記(	の注意メッセージが表示された
確認	
レッツ原価管理Go!のサーバーインストールが完了しました 次に各種設定を行ってください ・ファイアウォールに例外/ポートの追加 ・セキュリティソフトを有効にする ・サーバーへのユーザー追加 ・クラィマントのセットアップ	
【注意!】 共有フォルダの権限設定が正しく行われなかった可能性がありま 『 C:¥Users¥Public¥Documents¥LetsData 』 の権限をご確認ください (Users:フルコントロール設定) ※詳細はレッツ原価管理Go!インストールマニュアルの トラブルシューティングをご確認ください	± 7
	ок

手動でレッツ原価管理Go!用の共有フォルダの権限設定を行います。手順は下記の通りです。

Al IUserまたはパブリックのドキュメントの下の『LetsData』フォルダを右クリックし [プロパティ]を選択する。

C:¥Users¥Public¥Documents¥LetsData



- 1. Usersユーザーが追加されているか どうかの確認を行う
- フルコントロール[許可]にチェックが 入っているか確認する 入っていない場合は[編集]ボタンを クリックし編集画面で設定する
- Usersが存在しない場合は[編集]ボタンをクリックし編集画面から追加する



4. 追加したUsersユーザーにフルコントロール[許可]の権限を与える

※他のOSをサーバーとしてお使いの場合も同様の作業になります

#### 4 サーバーのインストール完了メッセージが表示されたが、 インストール時に指定したインスタンスが見つからない

5-8 「レッツ原価管理Go2の起動時に、「サーバーへ接続できません」とメッセージが表示された」 のSQL Server の起動状態確認手順で、インストール時に指定したSQL Serverのインスタンスが 見つからない場合は、SQL Serverのインスタンス作成に失敗している可能性があります。 以下に該当していないか確認します。

- ・[Microsoft Visual C++ 2017 Redistributable]がインストールされていないか
  - 1. [スタートメニュー]→[Windowsシステムツール]→[コントロールパネル]を起動します。
  - 2. [プログラムのアンインストール]をクリックします。
  - [Microsoft Visual C++ 2017 Redistributable]がインストールされている場合、 右クリックして、[アンインストール]をクリックします。
     ※(x64)と(x86)が両方ある場合、両方アンインストールします。

🔤 ······	·····	
Microsoft SQL Server System CLR Types (x64)	Microsoft Corporation	2020/12/28
Microsoft Visual C++ 2010 x64 Redistributable	Microsoft Corporation	2021/02/15
Microsoft Visual C++ 2010 x86 Redistributable	Microsoft Corporation	2021/02/15
Hicrosoft Visual C++ 2012 Redistributable (x64)	Microsoft Corporation	2021/02/19
Hicrosoft Visual C++ 2012 Redistributable (x86)	Microsoft Corporation	2021/02/19
Hicrosoft Visual C++ 2017 Redistributable (x64)	Microsoft Corporation	2021/10/08
₩ Microsoft Visual C++ 2017 Redistributable (x86)	アンインストール(U)	2021/10/08
E ME O MODINE C. COLIC. 2010		2021/10/00
Microsoft Corporation 製品パージョン:	変更(C)	
947X:	23.2 MB	

4. [アンインストール]をクリックして、アンインストールを実行します。



- 6.サーバーのインストール完了後、再度[Microsoft Visual C++ 2017 Redistributable] をインストールします。

※インストール用パッケージはマイクロソフト社の公式サイトよりダウンロード可能です。

#### 5 SQL Serverのインストール失敗または中断し、再度インストール する際の注意点

- tempフォルダ内のletsgo_temp_instancename.ini(インストール途中に しか残らないファイル)を削除してから再度SQL Serverのインストールを 行ってください。
- ・ tempフォルダの開き方
  - 1. デスクトップ画面でWindowsキー+Rキーを押します。
  - 2. [ファイル名を指定して実行]の画面が表示されます。

💷 ファイ)	ル名を指定して実行	×
	実行するプログラム名、または開くフォルダーやドキュメント名、インタ- ネット リソース名を入力してください。	-
名前( <u>O</u> ):		~
	OK キャンセル 参照( <u>B</u> )	

3. [%temp%]と入力し、[0K]ボタンを押します。

💷 ファイル	Aを指定して実行 X
	実行するプログラム名、または開くフォルダーやドキュメント名、インター ネット リソース名を入力してください。
名前( <u>O</u> ):	%temp%
	OK キャンセル 参照( <u>B</u> )

#### 6 サーバー名の変更

【重要】

- ・一般的に、サーバー名を変更するとネットワーク全体に不具合が生じる恐れがありま す。クライアントのサーバー使用状況を確認してから作業を行って下さい。
- ・サーバーのインストール終了後に、サーバー名を変更すると、クライアントからSQL Serverにアクセスできなくなりレッツ原価管理Go!が使用できなくなります。
- ・他にインストールしているアプリケーションでSQL Serverを使用している場合、サー バー名を変更して不具合が生じる恐れがあります。他のアプリケーションで使用して いるか確認を行ってから作業を行ってください。
- ・この作業を行ってネットワーク及び他のアプリケーションの動作に不具合が生じても 弊社では責任を負いかねます。予めご了承ください。
- ・ サーバー名の変更は、次の手順で行ってください。
  - ① クライアントでレッツ原価管理Go!のバックアップを行う。
  - サーバーの"SQL Server 2017"のアンインストールを行う。
     (既定のインスタンス名『LETS』)
  - ③ サーバーのコンピューター名を変更する。
  - ④ サーバーにレッツ原価管理Go!のインストールCDからサーバーインストールを再度行う。
  - ⑤ クライアントでレッツ原価管理Go!を起動するとエラーがでるので「OK」をクリックする。
  - ⑥ クライアントで新規会社作成ボタンをクリックし、[…]ボタンで新しいサーバーを
  - 選択し会社データ作成する。
  - ⑦ 作られた新しい会社データに、1)のバックアップデータを復帰する。
  - ⑧ 他にクライアントがある場合、1度エラーが表示された後に会社選択をクリックし、
     ⑥で作ったサーバーと会社を選択する。

## 3 クライアントのセットアップ時のトラブル

1 クライアントのセットアップ時、サーバー選択画面で 「次へ」を押すと、下記のメッセージが表示された



・サーバーでのユーザー登録が失敗している可能性があります。 サーバーへユーザーを登録して下さい。 ○ 2-8 サーバーのセットアップ 5.サーバーへユーザーの追加



サーバーコンピュータの指定
サーバーを検出できませんでした。
・「戻る」ボタン:インスタンス名の再指定 ・「キャンセル」ボタン:インストールの中止
<del>サ-バー覧</del> サーバーを検出できませんでした
選択中のサーバー
戻る 次へ キャンセル

・SQL Serverのインストールが失敗している可能性があります。 次頁の「レッツ原価管理Go!起動時に、「サーバーへ接続できません」と メッセージが表示された」を参考にして、構成マネージャの状態を確認して下さい。

構成マネージャに問題がない場合は、以下のように選択中のサーバーの所に、 サーバー名を入力し、「次へ」を押して下さい。

	サーバーコンピュータの指定
	サーバーを検出できませんでした。
	・「戻る」ボタン:インスタンス名の再指定 ・「キャンセル」ボタン:インストールの中止
	サーバー一覧
	サーバーを検出できませんでした
(	Windows7-PC
	天日 次へ キャンセル

#### 3 レッツ原価管理Go!起動時に、「サーバーへ接続できません」と メッセージが表示された

#### 下記の点をご確認ください

1 サーバーに、クライアントの現在のログオンユーザーが登録されていない(LAN環境の場合) [→] 2-8 サーバーのセットアップ 5.サーバーへユーザーの追加

2 サーバーに、例外プログラム及びポートの設定が行われていない(LAN環境の場合) [○] 2-6 サーバーのセットアップ 4.Windowsファイアウォールの設定

3 サーバーのレッツ原価管理Go!用の共有フォルダのアクセス権の設定が不足している [○] 5-4 トラブルシューティング 4.サーバーのセットアップ終了時に下記のメッセージが表示された

- 4 SQL Server 2017 が停止している SQL Server 2017 の起動状態を確認します。
  - ① 「スタートメニュー」→「Microsoft SQL Server 2017」→ 「SQL Server 2017 構成マネージャー」を開きます。
  - ②「SQL Server ネットワークの構成」下「***のプロトコル」※1 を選択し、「共有メモリ」「名前付きパイプ」と「TCP/IP」の状態のいずれかが「無効」の場合、右クリックメニューの「有効化」を選択し状態を「有効」にしてください。

🥵 SQL Server 構成マネージャ (ローカル)	プロトコル名	状態
SQL Server のサービス SQL Server ネットワークの構成 ここころのプロトコル ここここのプロトコル	登井有メモリ 登名前付きパイプ 受TCP/IP	有効 有効 有効 無効
। 🖅 🖳 SQL Native Client 10.0 の構成	a viii	7.a.70

③「SQL Serverのサービス」を選択し、「SQL Server (****)」※1の「状態」が 「実行中」であることを確認します。 「停止」になっている場合は右クリックメニューで「開始」して下さい。

いしになっている提会に右クリックメニューで(開始))	7 5 3	I
----------------------------	-------	---

名前	状態	開始モード	ログオン
SQL Server (LETS)	実行中	自動	NT AUTHORIT
SQL Server (SQLEXPRESS)	美行中	自動	NT AUTHORIT
SQL Server Agent (LETS)	停止	その他 (ブート、システ	NT AUTHORIT
SQL Server Browser	実行中	自動	NT AUTHORIT

- ④「SQL Server Browser」の「状態」が「実行中」であることを確認します。
   「停止」になっている場合は「開始」にして下さい。
   開始できない場合、「管理ツール」の「サービス」から開始させてください。
  - ※1にはサーバーのセットアップ時に決めたインスタンス名が表示されます。 初期値は「LETS」が入力されています。

## レッツ原価管理Go! インストールマニュアル

初		版	2009年10月30日
第	10	版	2021年10月12日
発	行	者	株式会社レッツ
			〒989-6106 宮城県大崎市古川幸町1丁目6-12

・本書の内容に関しては、訂正・改善のため、予告なしに変更することがございます。

